

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

法人名	株式会社リボン	代表者	飛田 尚文	法人・事業所の 特徴	当社は総合福祉サービスを展開しており、様々な事業展開を行っています。当事業所は「ファミリアいしづかの理念」に基づき、馴染みの地域でいつまでも安心・安全に過ごせるように、家族や地域の人々と共に支援できる関係作りを特徴とする事業所です。
事業所名	ファミリアいしづか	管理者	藤井 由紀		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	3人	人	人	1人	人	2人	人	7人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	個別研修で個々に学んだことを所属会議にて共有する。	所属会議も書面開催ではあるが、個々に学んだ研修を所属会議にて共有を行った。	<ul style="list-style-type: none"> 個々に学んだ研修を共有する取り組みは、とても良いと思います。次は年1回でも良いので、全員が研修に参加できると良いと思います。 多くの利用者の方の情報を共有するのは大変な事が多いと思います。 	年1回以上、職員全員が研修に参加する。今後も所属会議にて共有を行う。
B. 事業所のしつらえ・環境	引き続き、事業所内外の点検、整備を行う。特に今年は事業所内の利用者、職員が過ごしやすくする為の整備を行う。	空き時間に施設周りの草取りを行い、整備に努めた。事業所内の職員休憩室にロッカーを設置し、片付けを行った。休憩をし易い環境になった。	<ul style="list-style-type: none"> 利用者だけではなく職員も過ごしやすい工夫はとても良いと思います。 今後も環境整備に努め、利用者、職員が動き易い環境作りをして欲しいと思います。 	空き時間に施設周辺の草取りを、可能な時は利用者を交えて行い、環境整備に努める。
C. 事業所と地域のかかわり	地域向けに年3回、ファミリア内の活動を知って頂く新聞を作成し、回覧して頂く。	地域向け新聞を作成し、回覧して頂いている。	<ul style="list-style-type: none"> 地域向けの新聞は地域へのPRとして続けてほしいと思います。 努力されている事を実感します。 今後も続けてほしい。 	良い気候、季節の時は、積極的に利用者と一緒に散歩に出かけ、ご近所の方と会える機会を持つ。今後も、地域向け新聞を作成し、回覧して頂く。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	現在、独居で住まわれている利用者が居る為、事業所だけでなく民生委員又は、地域の方々と共に支えていける仕組み作りを目指す。	独居で住まわれている利用者の訪問時、雪の間車を止めさせて頂ける様、民生委員や町内会長に問い合わせ、確保して頂くことが出来た。	<ul style="list-style-type: none"> 「民生委員については、把握できていないケースが多い」との事でした。民生委員の業務内容など知る機会をつくっていただければ身近に感じられるかと思えます。 今後も続けてほしい。 	民生委員の業務内容、役割を調べ、情報共有を行う。
E. 運営推進会議を活かした取組み	対面ではなく書面開催であっても、ご家族の意見を頂き、運営に反映させる。地域向けの新聞に介護の相談困りごとを受け付けると発信する。	運営推進時、ご家族の意見を頂いている。地域向け新聞に介護の相談受け付けると載せている。今のところ、相談は無い。	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍で地域や家族が施設と直接かかわる機会が減少していると思います。家族、地域への発信や声かけをお願いします。 利用者を中心とした共通理解への取組みは今後も継続して欲しいと思います。 	利用者、家族、地域の方からの意見や苦情を頂く活動は続け、職員で素早く検討を行う。
F. 事業所の防災・災害対策	コロナ禍での火災水害を想定し、避難訓練を実施する。	年に2回、避難訓練を実施している。コロナ禍前と違うのは、グループホームと別々に避難する事や、消毒用品等持ち出し荷物が増えた。	<ul style="list-style-type: none"> 新しい生活様式に対応した実施方法が今後通常になると思います。有事に備え日頃から準備をお願いします。 コロナ禍での避難訓練実施は苦勞な事が多いと思いますが、利用者の方第一に取り組んで下さい。 	年に2回の火災水害を想定した避難訓練を実施し、災害対策に備える。コロナウイルス感染時の訓練を行う。